

数枚必要な場合は、同封した「被害状況別紙」をコピーの上使用し、右欄に一連番号を記入してください。→ (No.)

被害状況別紙	記入要領	記入例
番号	一連番号	1
契約を交わしたりお金を預けた営業員の名前	実際にお金を預けた相手の名前を記入してください。	〇〇 〇〇
会社の事業や利子についての説明やその他契約の説明等関わった営業員の名前	契約をした際や説明を受けた際に居合わせた全ての人の名前をわかる範囲で記入してください。	ヤマダ、スズキ、サトウ (フルネームがわかればフルネームで記載)
契約を交わした際に説明を受けた内容 (会社の事業の内容や利子の説明など)	預け先の会社の事業の内容や拠点、利子に関する説明など営業員や犯人らから受けた説明を覚えている範囲で記入してください。	〇〇会社が〇〇で〇〇の販売や〇〇事業を行っていて儲かっている。 事業を拡大する予定であり投資すれば毎月〇%のお金が返ってくる。元本は保証されている。等
契約をした日	契約をした日にちを記入してください。 正確に覚えていない場合は覚えている範囲で〇年〇月頃など記入してください。	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 わからなければ令和〇年〇月下旬頃 等
お金を預けた日 振込であれば振込の日	現金を渡した日又は振込の日を記入してください	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日 わからなければ令和〇年〇月下旬頃 等
預けた金額(現金または振込)	円	〇〇〇万円
振込で預けた場合の振込先口座	犯人に振込で預けた場合、振込先の口座の情報を記載してください。	金融機関名 〇〇銀行 支店名 〇〇支店 口座名義人 〇〇 〇〇 口座番号 〇〇〇〇〇〇〇〇
添付書類の種類	契約書や委任状、お金を預けた際の受領証等の写しを添付し、その種類を記入してください。振込の場合は振り込んだことが分かる書類(振込明細書、通帳等)の種類を記入してください。	契約書の写し 犯人が書いた受領証 通帳の写し(犯人からの利子の振込がわかる部分)
利子の受領日、金額、受領方法	利子の受取状況を詳しく記入してください。 銀行振込で受領していた場合は通帳の該当箇所の写しを添付してください。	R〇年〇/〇に〇〇円 現金で受領 〇/〇に〇〇円 〇〇銀行〇〇支店 〇/〇に〇〇円 〇〇銀行〇〇支店 振込入金 〇%の利子を〇か月に1回 令和〇年〇月～令和〇年〇月まで 〇〇銀行〇〇支店に振込み
その他参考事項	被害当時から氏名が変わった場合は、その当時の氏名、ふりがな、変更理由等を簡潔に記入してください。	法務 太郎 ほうむ たろう (結婚のため)

※メモ用紙等使用使用するなど適宜な方法で詳細を記載してください。